

平成26年度農業振興に関する 要請に対する回答書

<要請項目>

I. 園芸作物対策

1. 震災対策としての重油タンク防災支援について . . . 1
2. 燃油価格高騰緊急対策の継続および拡充について . . . 3
3. 農業用電気料金の負担軽減に向けた料金メニューの改善について . . . 4
4. ヨウ化メチル剤販売中止への対応について . . . 6

II. 鳥獣害対策

1. 鳥獣害対策専門員委託事業の継続について . . . 8

III. 茶対策

1. 土佐茶の振興対策の強化について . . . 10

I. 園芸作物対策

1. 震災対策としての重油タンク防災支援について

本県では、温暖な気候を利用した施設園芸が盛んですが、津波被害が想定される沿岸部に多くのハウスおよび重油タンクが存在しています。

地震や津波により、重油タンクが転倒し、重油が流出することによって、それに伴う火災の発生や環境への影響などが危惧されており、リスク管理面での取組が求められている状況にあります。

そのため、防災対策の視点から、流出防止機能付き重油タンクの整備への助成など、重油の流出防止に向け、必要な予算措置と支援対策の創設を要請します。

(回答)

1 昨年度は、重油タンクの設置場所等の実態把握調査について協力いただき、ありがとうございました。

本県農業の柱である施設園芸の生産基盤の安定と地域防災の観点から、重油の流出防止対策を重点的に取り組む必要があります。

2 これまで国に対して2回、提言活動を行ってきたところです。

3 重要な課題でありますので、重油タンクの利用者である園芸農家や市町村等と燃料タンクに関する対策を検討いただき、策定いただいた計画に沿って流出防止装置付き燃料タンク設備が整備できるよう、まずは国に対して支援制度の創設を引き続き要望してまいります。

4 また、流出防止装置付き燃料タンクの低コスト化と導入に向けた仕組みづくりを検討してまいります。

I. 園芸作物対策

2. 燃油価格高騰緊急対策の継続および拡充について

平成24年度補正予算で創設された「燃油価格高騰緊急対策」は、重油価格等が高騰する中、省エネ設備の整備による重油使用量の節減や燃油価格のセーフティネットの構築により、燃料に関する支出が安定化できるなど、施設園芸農家にとって非常に有効な事業となっています。

本県の主力産業である、施設園芸農業が今後も安定的に継続できるよう、国に対し、燃油価格高騰緊急対策の継続と拡充を働きかけることを要請します。

(回答)

- 1 25年4月9日に農林水産省に「燃油価格高騰緊急対策」の継続と電気料金にも補てん対象を拡充することについて要望しています。
- 2 園芸農家のニーズも高く、経営安定対策、燃油コスト削減対策として有効な事業ですので、これからも機会を捉えて対策の継続と拡充を要請していきます。

I. 園芸作物対策

3. 農業用電気料金の負担軽減に向けた料金メニューの改善について

県内の施設園芸においては、化石燃料に代わる新エネルギー設備として、農業用バイオマスボイラーやヒートポンプの普及推進に取り組んでいるところです。

これら省エネ設備導入は、重油に比べて価格が安く安定していることから、原油高騰を背景に増加傾向にありますが、今後、電気料金の値上げが実施された場合の農業経営へのダメージは大きく、施設園芸農家は経営継続に大きな不安を抱えています。

ついでには、本県の施設園芸農家が農業経営を安定的に継続できるように、四国電力に対して、低圧季節別時間帯別電力契約における冬季の夜間時間帯の拡大等、低圧電力利用者向けの料金メニューの改善について働きかけることを要請します。

(回答)

1 四国電力への要請については、農協農政会議と県とがお互いに効果的な内容を検討していくとともに、JAが要望活動を行う際には、昨年同様に引き続き県からも同行をするなど、協力をしてまいります。

2 なお、県ではヒートポンプ導入の^{の普及を推進}メリットを維持するため

には、~~イニシャルコストの軽減も有効であるため、今年度、~~
レンタルハウス整備事業において、ヒートポンプ等の省エネ
機器を導入する場合には、~~上乗せ補助~~^{補助費の軽減}を実施しております。

また、~~高止まり傾向にある燃油対策について、~~国の燃油価
格高騰緊急対策^{リース事業}を活用しまして、~~ヒートポンプなどの積極的~~
導入~~の~~支援にも努めております。

I. 園芸作物対策

4. ヨウ化メチル剤販売中止への対応について

ヨウ化メチル剤は、臭化メチル剤に代わる、有効で農作業の省力化が期待できる土壌消毒剤として普及しつつありましたが、東日本大震災後、原料であるヨウ素の供給が困難になったため販売が中止されました。

臭化メチル剤に代わる様々な代替剤・技術については、ヨウ化メチル剤以外にもすでに開発され、生産現場においても実施していますが、ヨウ化メチル剤の販売中止は、農作業の省力化を期待していた生姜生産者に対して影響を与えています。

そのため、土壌消毒作業の省力化につながる技術の確立・普及に向けた取組みを加速するよう要請します。

(回答)

- 1 生姜の安定生産を図るため、これまでに臭化メチル剤の代替剤や代替技術の開発に取り組み、平成 20～24 年度に農林水産省の委託事業「臭化メチル剤から完全に脱却した産地適合型マニュアルの開発」を活用し、ヨウ化メチル剤やダゾメット剤などによる「露地生姜における脱臭化メチル栽培マニュアル」を作成しています。
- 2 ヨウ化メチル剤以外の代替剤については、薬剤注入器など専用の処理機具が必要ですが、現在のところ、このマニュアル

ル以外に有効な対応策はありません。

- 3 そのため、農林水産省の委託事業を平成 26 年まで 2 年間延長し、マニュアルの普及と技術の低コスト化に取り組んでいるところです。また、農薬メーカーに対しては、引き続き省力化につながる新たな剤の開発について要請してまいります。

II. 鳥獣害対策

1. 鳥獣害対策専門員委託事業の継続について

平成 24 年度より措置された高知県の事業を活用し、平成 25 年度現在、9 J Aにおいて 12 名の鳥獣害対策専門員を設置のうえ、増加する鳥獣被害に対応しています。

専門知識の習得や地域の現状把握、地区の関係者との対話からスタートした専門員による鳥獣被害対策は、現状、地域の実情に応じた対策が開始され、地域住民から大きな期待を受けています。

そのため、増加している鳥獣被害に対応し、今後も、継続して地域に密着した鳥獣被害対策を実施していくためにも、鳥獣害対策専門員委託事業の継続を要請します。

(回答)

1 鳥獣被害対策専門員委託事業は、継続させていただきたいと思えます。ただ、この 2 年間取り組みを進めてきた結果を踏まえ、どういう形でやっていくのが一番いいのか、さらに、どういう点を改善していけばいいのかということをしかりと検証させていただいたうえで、最終的には継続させていただきたいと思っております。

2 J Aグループのご理解、ご協力により、鳥獣被害対策専門員を配置させていただいておりますことを、感謝申し上げます。

25年度には、管内の広い2JAに各1名を増員させていただきましたが、どちらのJAにもご協力をいただき感謝しております。

- 3 この秋から、新たに開発したわな5,000個を仕掛け方講習とのセットで各集落に配る事業がいよいよスタートします。3年間で1万3,000個のわなを県内に配布したいと思っております。

この鳥獣被害対策専門員配置の取り組みも、大量なわなを物理的に配布する取り組みと併せて、効果があるように進めてまいりたいと思っております。

Ⅲ. 茶対策

1. 土佐茶の振興対策の強化について

茶生産は中山間地域の主要な産業ではありますが、生産者の高齢化、販売価格の低迷、生産コストの高騰など、栽培を取り巻く環境は厳しく、近年生産量は激減し、耕作放棄の茶園が増加している状況にあります。

将来にわたって、高品質な土佐茶の生産を維持し、中山間地域の主要な産業として継続していくためには、産地として具体的な目指す方向性を明らかにし、支援対策を講じていく必要があります。

そのため、できるだけ早期に、土佐茶の将来方向を明確にした振興指針を明らかにし、将来にわたって、経営が継続できるよう、産地の維持・発展に向けた具体的な対策の検討を進めるよう要請します。

(回答)

- 1 平成23年4月に国が、「お茶の振興に関する法律」を施行し、基本方針を定めています。

県では、この基本方針や産業振興計画で取り組んで来た成果を踏まえて、各産地の意向を反映させた高知県茶振興計画(仮称)を年度内に策定することとしています。